

会 議 録

第 3 回定例会

開会 令和 7 年 5 月 2 3 日

教育委員会会議録

1 開 会 令和7年5月23日 午前10時

2 閉 会 令和7年5月23日 午前11時05分

3 教育委員会出席者

教育長	中川 斉史
委 員	島 隆寛
委 員	河野 暁
委 員	岡本 弘子
委 員	横田 賢二
委 員	糸井 恵理

4 教育長及び委員以外の出席者

副 教 育 長	松本 光裕
教 育 次 長	海老名 正規
教 育 次 長	眞梏 秀也
教 育 創 生 課 長	青木 秀夫
教 職 員 課 主 幹	簗内 純一郎
特 別 支 援 教 育 課 長	中山 登
教 育 政 策 課 長	地面 浩
教 育 政 策 課 副 課 長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 協議事項2を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《協議事項1 令和8年度徳島県公立高等学校入学者選抜の基本方針について》

教育長 説明を求める。

教育創生課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

島委員：今後の入試制度がどうなるのか注目されている。例えば、共通選抜方式、1回の学力試験で、その得点に応じて、その点数によって振り分けが決まる。高校を受けて落ちた場合、その1つ下とも限らないが、受検生が安心感を抱けるような、そうした強みを入れていくかということも踏まえながら、入試制度を決めているのかどうか。

教育創生課長：令和11年度入学者選抜からの通学区域制を撤廃する方針を決定している。昨年度、通学区域制に関する有識者会議においても、学区撤廃を見据えて、公立高校の在り方を検討すべきだと。その中で、入試制度についても、複数回受検が可能となるような制度の見直しもすべきではないかという御指摘、御報告をいただいている。県教委としても、高校の在り方や入試制度の見直しについて、今後、検討してまいりたい。

岡本委員：傾斜配点や人数配分などスクール・ポリシーを反映してということがいろいろな場所に書かれているが、どの程度の学校でどのような反映状況なの

か。

教育創生課長：傾斜配点については、参考に、令和7年度入試では実施校が6校。通常、500点のところ、例えば城南高校の理数科は数学と理科と英語に傾斜をかけて合計600点。各学校とも、最大600点で教科によって傾斜をかけている。

岡本委員：本当にスクール・ポリシーを反映して、特色ある活動に応じた、傾斜配点や点数化は難しいが、面接などを実施していくべきだと思う。昨年度、徳島市の中学生はN高など通信制の高校に非常に多くの生徒が進学したと聞いている。通信制が悪いわけではないが、入れなかったから通信制に行くとなると、地方の高校の存続が難しくなっていくのではないかと。その先を待ってではなく、今から入試の内容や制度を変えていかないと、どんどんその傾向は広がってしまうのではないかという気がしている。

教育創生課長：入試制度の見直しについても、検討してまいりたいと思っている。スクール・ポリシーについては、傾斜配点以外に育成型選抜の選抜方法にも活用している。生徒に選ばれる魅力ある学校づくりが公立高校の今後の課題である。

岡本委員：育成型選抜で活動重視枠とか、部活動が主というところがあるように思うが、部活動だけではなく、教育内容・教育活動に反映していかなければいけないのではないかと。

教育長：現実的にはそういうのが多い。わかりやすいからというのもあるが、例えば今、委員がおっしゃったように、中学校時代にどういう活動してきたかということで、部活動以外のことについて、各高校がこういう生徒が欲しいというところで、まだまだ事例が少ないので残念だが、そこは大事にしていきたい。

糸井委員：スクール・ポリシーを踏まえた選考があるということを、生徒はある程度準備できるものなのか。中学1年次から行きたい学校がある場合、参考にできる資料はあるのか。

教育創生課長：入学者選抜について、生徒募集の中に高校ごとにスクール・ポリシーを明示している。そういうものを見ながら、「行ってみたい」と思ってもらえれば。

教育長 協議事項1を議案第7号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第7号を原案通り決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第 7 号を原案通り決定する旨を告げる。

《協議事項 3 令和 8 年度徳島県立特別支援学校高等部入学者選抜の基本方針について》

教育長 説明を求める。

特別支援教育課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

岡本委員：支援が必要な方が小・中学校ともに増えてきている状況にあると思う。不合格者も次の進路が決まっているとのことだったが、受検者数は増えてきているのか。

特別支援教育課長：年によって異なっている。直近 3 年間の受検者数は、令和 7 年度が 1 4 7 名、令和 6 年度が 1 7 0 名、令和 5 年度が 1 6 6 名であった。1 6 0 名程度の受検者数が何年か続いていたが、昨年度は 1 4 7 名と、少し少なくなっている状況である。

岡本委員：国府支援学校も新しくなって、希望者もまた増えると思う。

教育長 協議事項 3 を議案第 9 号として付議してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第 9 号を原案通り決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第 9 号を原案通り決定する旨を告げる。

[非公開]

《協議事項 2 令和 8 年度徳島県公立小・中学校、徳島県立学校校長及び教頭任用候補者選考審査要綱について》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前 1 1 時 0 5 分